

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	132	1年	前期	臨床検査学科	必修	英語Ⅰ EnglishⅠ	30	1
担当教員								
尾上 智子								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
○	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
○	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
<p>本授業は、多文化共生時代の医療に必要な基礎的な英語力の養成を目的とするものである。医療に関わる英文記事の内容を読解する力や医療現場で役立つ英語の語彙力・表現力を磨く。本授業では比較的長い英文を「読む」能力を養う活動に重点を置きつつ、映像や音楽等の多様な素材を活用しながら、「聴く」・「書く」・「話す」能力を高める活動にも取り組む。また、多文化共生時代の医療現場における日本語によるコミュニケーションのあり方について議論する。</p>								
到達目標（授業目標）								
①医療をめぐる様々なテーマに関する英語の記事を、辞書を用いながら概ね読解することができる。								
②医療現場で必要となる基本的な英語の語彙や表現が身についている。								
③授業で紹介する効果的な英語学習法や教材、情報等を活用し、授業外において主体的かつ継続的に英語の学習に取り組む意欲を持つことができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	Introduction: Self-introductions. / How is this class organized? 授業の進め方							
2回	I: A Holistic View of Humans 人間を全体的にとらえる考え方と医療							
3回	I: Homeostasis, Stress, and Adaptation 体内の恒常性の維持－ストレスと闘うには							
4回	I: Late Adulthood 老人学と老人医療							

5回	II: Music Therapy: Soothing the Savage Beast 音楽療法とは何か								
6回	II: Organ Transplant: A Matter of Life and Death 臓器移植－生死を分ける問題								
7回	III: The Health Care Team 医療はチームで								
8回	III: Communication Skills コミュニケーション能力は治療の鍵								
9回	IV: Rest and Sleep 休息と睡眠－眠れぬ夜のために								
10回	IV: Vital Signs –Temperature, Pulse, Respiration, and Blood Pressure 生きているあかし－脈拍、呼吸、血圧、体温								
11回	IV: In-hospital Infections 院内感染から患者と医療従事者を救うには								
12回	V: Medication –Pharmacokinetics and Pharmacodynamics 薬の体内でのたらしき－薬物動態学と薬力学の発見								
13回	V: Cancer Therapy ガン治療－ガン細胞に打ち克つ								
14回	多文化共生時代の医療現場におけるコミュニケーション①：講義とワーク								
15回	多文化共生時代の医療現場におけるコミュニケーション②：在日外国人のゲストの講演とワーク（講演は教育協力者に依頼）								
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
小テスト・授業参加（40％）、定期試験（60％）。トータル60点以上を合格とする。									
教科書	Tsukimaro Nishimura, et al. 「Health Care Today」 （Asahi Press）								
参考図書等	適宜紹介します。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
テキストの指定された章に対する事前の取り組みや、小テストに向けた事前学習が必要になります。									
関連科目									
前科目									
後科目	133	英語Ⅱ	135	英会話Ⅱ	103	国際文化コミュニ	112	文化人類学	
実務家教員									
備考	毎回、必ず英和辞典を持参してください。								